

花だより
4
桜

古来、人々は梅が咲くと次は桜を追い求めたものです。このコラムでも梅の次は桜とまいりましょう。
万葉集(巻5の829番)には
梅の花散りなば 櫻花継ぎて
さくづく なりにてならずや
この作者は中国からの渡来人の張福子というから、面白いものですね。
♪梅は咲いたか 桜はまだ
だかいな... いう江戸端唄・俗曲もあります。
滝廉太郎の「花」(♪春のうららの隅田川/上り下りの...)という歌の歌詞は、紫式部の「源氏物語」の24帖「胡蝶」に春の六条院の様子を描いた風景にそっくりです。作詞をした武島羽衣が源氏物語からの本歌取りではないかという学者もいます。いつれにしても、桜と隅田川と舟遊び(ポイント)が一体となった春ののどかな風景を見事に描いています。桜と富士山は古来、日本人の心よりどころでした。在原業平の歌があります。
世の中にたえて桜のなかりせば
春の心はのどけからまし
桜が明治以降、先の大戦まで、軍国主義の象徴に利用されてしまったのは残念なことでした。さて、そんな



硬い話ではなく、今、目の前に咲いている桜を素直に愛でましょう。
日本の三大桜は福島県の三春滝桜、岐阜県の薄墨桜、山梨県の神代桜といわれ、私も昔、若い頃、見てまわりましたが、それぞれに巨木で、神秘的でさえありました。しかし、そんなに遠くに行かなくても、県内にも平塚の湘南平、大磯の城山、小田原城、御殿場線の山北駅など、近くでも見事な桜を見ることが出来ます。
たが、私にとっては、九州の田舎の小学校の校庭に咲いていた桜ほど大きくて、綺麗な桜はないと今でも思っています。これが本当のマイ・サクラというのでしょうか。
そういえば、芭蕉の句がありました。
よまざるまのこゝろ
思いだす桜かな
桜には名句や名歌が多いのですが、今回は漢詩で締めましよう。
井伏鱒二の名訳で知られています。
千 武陵の唐詩の最後二行の原文と訳文を記します。
花多風雨/人生足別難
花に風のとえもあらず
さよならだけが人生だ
友人との別れを惜しんで、酒を勧める歌です。花はもちろん桜です。
(井)

3年前の東日本大震災。今も被災地の方々の生活は避難を余儀なくされておられます。
震災当時は私どもの生活にも幾分影響をきたし、震災の激しさを実感したものです。が、その当時に比べるとどこか風化してしまった「過去の他県の出来事」となっている雰囲気、感じられませぬ。
「らいい神明」では震災直後より「私たちができること」「遠く離れた藤沢からの復興支援」という思いで「東日本大震災復興支援バザー」を毎年開催してまいりました。そして今年も引き続き、開催を致します。



地域で取り組む復興支援。
今年もやります、「らいい神明」復興支援バザー！
平成26年5月10日(土)「らいい神明」において
第7回東日本大震災復興支援バザー開催致します

これまでバザーでの収益金は仙台市に本部を構える「NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター」(CLC)へ全額寄付をし、復興支援活動に活用していただいております。
このバザーは私ども「らいい神明」だけでは成り立ちません。「らいい神明」のある宮之前町内住民の皆様、ボランティアの皆様等のご理解とご協力のもとに成り立っております。もちろんリフシアの各事業所も一緒に取り組んでいます。多くの皆さんの復興を願う気持ちを被災地にお届けし、たいと思いますので、当日は一人でも多くの方に足を運んでいただけることを願っております。



昨年4月の復興支援バザーも沢山の来場者で賑わいました

「らいい神明」では震災直後より「私たちができること」「遠く離れた藤沢からの復興支援」という思いで「東日本大震災復興支援バザー」を毎年開催してまいりました。そして今年も引き続き、開催を致します。

編集後記

春号では、5月にオープンするリフシア浜の郷と「らいい神明」の東日本大震災復興支援バザーをご紹介します。
そしてもう一つ、この春オープンしたリフシアネット(リフシアの子会社、茅ヶ崎市萩園)が運営するセントラルキッチン、「タンポポ」についても触れておきたいと思えます。
タンポポでは、リフシアの介護施設に真空調理法で調理した介護食・嚥下食を提供します。将来は食事を通じた地域のネットワーク「見守り作り」を目指しています。リフシア浜の郷の内覧会でも試食が出来るので、是非いらして下さい。



介護食、嚥下食の勉強会
(3月28日「らいい善行にて」)
高齢者に多い誤嚥性肺炎の予防には、入れ歯の調整や歯科治療、口腔ケアとともに、口腔機能に合わせた食事が大変重要です。身近に関わる介護職に正しい知識を普及するのもタンポポの役割です。詳しい内容は、次号でご紹介いたします。(ふちらいいVOL. 19・20にも関係記事があります)



私たちの3.11支援活動

NPO法人「全国コミュニティライフサポートセンター」は震災直後、被災地の社会福祉法人、全国の福祉関係者・施設・団体・大学が協働する「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」を立ち上げ、状況に合わせた支援活動を行ってきました。現在も地域生活を見ずえたさまざまな活動を行っています。先日、この共同支援ネットワークからリフシアに「私たちの3.11支援活動」(CLCの雑誌ふんとすの特別増刊号)が送られ、活動支援金や支援物資の活用についての報告と感謝状をいただきました。



光



これからの新しい暮らしのかたちを考える

安心の住まい サービス付き高齢者向け住宅

皆さんは高齢になった時、どのような住まいかたを選びますか？
 自宅、子供と同居、施設？
 地方に暮らす親を呼びたいけれど情報が少ないと悩んでいませんか？
 茅ヶ崎市にサービス付き高齢者向け住宅が新しくできるので紹介します。



季節ごとの花や、みなさんと一緒に収穫を楽しむ畑作りを行います。

ゆったりと思いきいの時間を楽しめる読書コーナー。



白木美由紀
(リフシア浜之郷所長)

本格的なカラオケが楽しめるカラオケルームもあります。



ご家族、お友達、地域の方と交流できるスペースが沢山あります。



個浴と大浴場が選べます。

ここに住んで良かったと思って頂けるように、スタッフ一同で盛り上げていきたいと思えます。ケアマネジャーとしても皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。地域にお住まいの方の介護相談も、お受けしています。

小林 忍
(相談員)

白木美由紀
(リフシア浜之郷所長)

谷井美也子
(ケアマネジャー)

岸田千晶
(事務員)

川島 朋恵
(訪問介護サービス提供責任者)

皆さまが快適にお過ごしいただける様、いつも笑顔でサポート致します。

リフシア浜之郷の生活を皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを企画しています。

が常駐していることで、安否確認や生活相談等が受けられるという安心感のあるサービスを提供しているのが特徴です。
 リフシア浜之郷は松並木の美しい鶴嶺神社参道沿いに位置し、周辺にはコンビニ、スーパー、生活用品店、美味しいお食事処などがたくさん揃っています。すぐ近くに新しく公園も作られています、お住まいになられる方には大変便利で生活しやすい所です。皆さまの生活が楽しい「私の家」として暮らしていただくお手伝いを、また、地域に開かれたスペースになるよう考えています。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。スタッフ一同お待ちしております。

いよいよサービス付き高齢者向け住宅「リフシア浜之郷」が平成26年5月1日にオープンします。14年の介護現場と管理者経験を経て所長に就任しました。宜しく願います。
 皆さんはサービス付き高齢者向け住宅をご存知ですか。有料老人ホームとどのような違いがあるかといえますと、有料老人ホームは入居一時金等の利用権方式で、施設職員が直接サービスを提供しますが（介護サービスを受ける際の一部負担金は介護度に応じて決まっている）、サービス付き高齢者向け住宅では、家賃と管理費（共益費）、



鶴嶺神社参道の風景



生活支援サービス費を毎月支払う賃貸契約で、解約も容易にできるようなっています。60歳以上の高齢者であれば健康な方でも入居でき、ケアの専門家

各お部屋からは見晴らしの良い風景が広がる、明るく心地よいお部屋になっています。



資料請求
入居ご相談
随時受付中

リフシア浜之郷 平成26年5月1日OPEN

家賃(共益費含)・生活支援・安否確認込みで
月額費用 99,500円～



●内覧会のお知らせ●
4月25日(金)・26日(土)・27日(日)
10時～15時

お問合せTEL0467-59-3000
リフシア浜之郷 担当：白木

土・日・お急ぎの場合は下記の携帯電話にご連絡ください
TEL080-6657-0004

リフシア浜之郷：神奈川県茅ヶ崎市浜之郷 738-1



茅ヶ崎駅3番のりば 平塚駅行き乗車4分 町屋下車徒歩5分 茅ヶ崎駅5番のりば 小谷行き・寒川駅南口行・今宿循環乗車8分 鶴嶺小学校下車徒歩7分